

■一般目標 (GIO)

歯科衛生士として、看護概念を理解し基本的な看護技術や知識を修得すると共に看護実務について理解する。

■到達目標 (SBOs)

- ・バイタルサイン（体温，脈拍，呼吸，血圧）成人の正常値を説明できる。
- ・脈拍の主な触知部位（動脈）を説明できる。
- ・消毒，滅菌の定義，滅菌法の種類と特徴を説明できる。
- ・口腔ケアの目的と口腔清掃実施時の注意点を説明できる。
- ・手指衛生の目的，種類，注意点を説明できる。
- ・個人防護用具の着脱順番を説明できる。

■教科書：歯科衛生士のための看護学大意 第4版（医歯薬出版）

■参考書：必要に応じてプリント配布

■授業時間：木曜日 11:00～11:50

■オフィスアワー：大貫 邦江 (oonuki.kunie@nihon-u.ac.jp)

木曜日 12:00～13:00

■授業の方法：教科書の内容を中心に，プロジェクタを利用し講義形式で進める。

バイタルサイン測定の演習を実施する。

■成績評価方法：定期試験（100%）を基本とする。

■注意事項：教科書を持参すること。

■実務経験：大貫邦江：現在，日本大学歯学部附属歯科病院看護室に在籍しており，臨床看護（医科系・歯科系）の経験を基に看護師の立場から基本的な看護技術・知識について，本教科で学ぶ内容がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

永井裕美：現在，日本大学歯学部附属歯科病院看護室に在籍しており，臨床看護（医科系・歯科系）の経験を基に看護師の立場から基本的な看護技術・知識について，本教科で学ぶ内容がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

渡邊由利恵：現在，日本大学歯学部附属歯科病院看護室に在籍しており，臨床看護（医科系・歯科系）の経験を基に看護師の立場から基本的な看護技術・知識について，本教科で学ぶ内容がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月18日 大貫 邦江 國井 知余	1. 病院における歯科衛生士の役割 I) 活動の場 II) 診療所 III) 病院 IV) 医療チームの中の歯科衛生士 (教) p. 1-16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の活動の場，診療所と病院の違い，外来・病院における歯科衛生士の役割について学ぶ。
第2回 4月25日 大貫 邦江 國井 知余	2. 看護の概念 I) 看護の歴史 II) 看護とは (教) p. 17-23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代と現代の看護について学ぶ。 ・ 看護の定義，健康の概念を理解する。 ・ 看護の対象，目標，基本的役割や実際の看護活動の流れを学ぶ。
第3回 5月2日 大貫 邦江 國井 知余	3. 歯科衛生士が知っておくべき看護技術 I) バイタルサイン (教) p. 24-32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体温，脈拍，呼吸，血圧の機能の正常と異常を学ぶ。
第4・5回 5月9日 5月16日 大貫 邦江 渡邊 由利恵 國井 知余	II) バイタルサイン測定の方法 ・ 脈拍、血圧測定の手技 (教) p. 33-39	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイタルサイン測定の方法を実際に体験実習し，手技を修得する。
第6回 5月23日 大貫 邦江 國井 知余	III) 患者とのコミュニケーション IV) 患者への支援 (教) p. 43-48	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションについての基本的知識を学ぶ。 ・ 患者の特性に応じた適切な対応や援助を行うため患者に接する側の立場、役割を理解する。
第7回 5月30日 永井 裕美 大貫 邦江 國井 知余	V) 患者の安全と安楽 (教) p. 49-53	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安楽な体位の工夫，体位交換，安楽を図るための看護用品・用途について学ぶ。
第8回 6月6日 永井 裕美 大貫 邦江	VI) 栄養と食事 VII) その他の看護技術 (与薬, 罨法, 吸引および吸入) (教) p. 54-63	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命維持に必要な栄養補給の「食べる」行動だけでなく「楽しく食べる」ことの重要性を理解する。 ・ 目的，種類，方法や注意事項

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
國井 知余		について学ぶ。
第9・10回 6月13日 6月20日 永井 裕美 渡邊 由利恵 國井 知余	4. 歯科衛生士に必要な看護業務 I)患者の観察および治療経過の記録の作成 II)病院外来での業務 III)入院を要する患者の看護 IV)口腔ケア (教) p.65-80	<ul style="list-style-type: none"> 患者の診療介助，全身状態の観察，対応など，口腔外科における基本的看護の特徴を理解し，外来・入院患者に対して適切な援助，診療介助について，また，歯科衛生士としての業務や看護師と協働すべきことはないかを学ぶ。
第11回 6月27日 渡邊 由利恵 國井 知余	V)救急時の看護 (教) p.80-83	
第12回 7月4日 渡邊 由利恵 國井 知余	VI)洗浄・消毒・滅菌 (教) p.83-86	<ul style="list-style-type: none"> 定義と基本的な洗浄・消毒・滅菌を理解し正しい取扱いを学ぶ。
第13回 7月11日 渡邊 由利恵 國井 知余	VII)感染対策 VIII)医療安全対策 (教) p.86-98	<ul style="list-style-type: none"> 標準予防対策について認識する。 歯科医療現場での危機管理体制を認識する。
第14・15回 7月18日 7月25日 渡邊 由利恵 國井 知余	5. 地域医療活動における歯科衛生士の役割 I)地域社会における看護のあり方 II)保健・医療・福祉チームとの連携 III)在宅医療における歯科衛生士の役割 (教) p.99-113 付. 関係法令 (教) p.115-129	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に対する保健，医療，福祉の現行制度とサービス体系の内容を理解する 医療チームの一員として，関係職種との役割や連携のために必要なさまざまな事項を理解する。 在宅医療の必要性と在宅医療を担う職種について理解し，高齢者や介護者である家族の立場に立って援助することの重要性を理解する。